

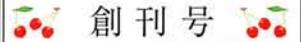


思い出の旧校舎



現校舎と千歳山

山形市之高山形南高 東京同窓会報



創刊号

発行人 千代田区平河町2-6-3
 山形県東京事務所内
 山南東京同窓会事務局
 TEL. 03-5212-9026
 齋藤 常 男
 編集者 鈴木 隆

母なる河、最上川と蔵王連峰(寒河江市にて)



 わが同窓は
 首都圏で2,800
 余名健在なり。

母校と郷土を
 離れて幾星霜。
 常に想うのは学
 友と恩師、学業
 スポーツにひた
 むきな日々を過
 ごした青春時代。

まさにそれは母校の応援歌「空はコバルト」そのもの。
 だが、新天地東京で生きる我等には別の気概あり。わが会報は同窓1人
 1人の足跡を温かく見守ると共に、首都圏で活躍する会員諸兄の健闘を
 讃え、相互の絆を深めることを本旨といたします。

ごあいさつ

母校の発展を期すため 東京同窓会に結集を!



山形南高東京同窓会
会長 斎藤 常男

東京同窓会は、母校の発展と同窓生の親睦を目的に、元拓殖大学学長であった故大塚利實氏が初代会長となり結成されました。その後は渡辺幸雄前東京同窓会長を中心に活動が行われてきましたが、その間、数々の問題もありました。

平成14年12月3日、会の活動強化を目的に、山形同窓会と県の幹部、県東京事務所同窓職員の方々のお力をいただき、300人の同窓生が集い、会の強化を誓い合いました。

東京同窓会のこれまでの活動を総括してみますと、次のような大きな課題がありました。

第1は、同窓会員の住所把握が困難で名簿作成に支障があったこと。第2は、会員の多くが生活と仕事に多忙で同窓会活動ができる時間的余裕のある人が少なかったこと。第3は、卒業してから再会し友誼を深める機会が少なく、相互の結びつきが弱かったこと。第4は、事務局体制を構築するだけの人材と資金がなく、同窓会員に積極的に連絡情報提供ができなかったことであります。

東京同窓会のより一層の発展を図るには、これらの課題を解決し、①山形同窓会の強い結束と活動を学び、東京同窓会の効果的な活動スタイルを

斎藤常男会長は南高5回卒です。

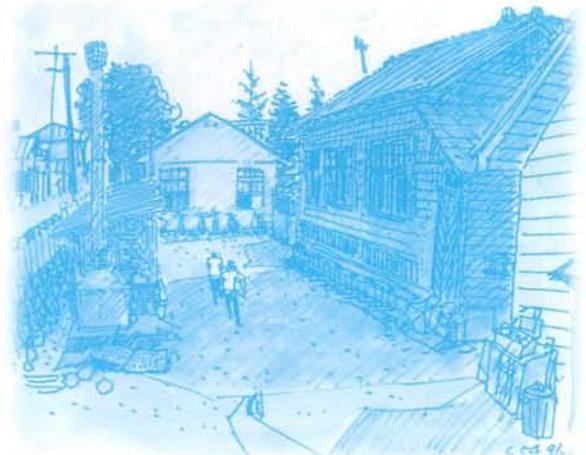
進取の気性を持って挑戦する これが南高の原点です。

創出する。②会員の参加を促進する事業を展開し、会員の意見が反映される運営を行う。③会のために動き、働いてくれる人を積極的に登用し、また次の同窓会の幹部を育成する。④会の役員、常任幹事、学年幹事が一体となって、責任をもって活動を行う。⑤母校の発展に貢献する同窓会を構築する。このような方向で活動を展開することが重要であると思います。

私達役員及び常任幹事は、就任以来、使命と責任を自覚し課題に挑み、精力的に活動を行ってきました。今後も一致結束して活動を推進してまいります。是非、ご協力をお願いします。

これまで東京同窓会を支えてくださった諸先輩と県関係者に心から感謝申し上げます。

南高で育ち、東京で挑み、社会で燃える南高健児のみなさん! 母校を想い、同窓会に結集しましょう!



東通用門



＝祝 辞＝ 進め! コバルトの旗と共に

山形県立山形南高等学校
同窓会長 千歳 貞治郎

夢と大志を笈に入れて出郷した大南高同胞の皆さんお元気ですか

男性的で剛直な反面細やかでふくらみのあるのが南高生です。この混迷の時代でも玉葱の薄皮を一枚剥いだような新鮮さを持っているのが南高です。今もふるさとの水は清冽でふるさとの山はやさしい、千歳のお山は温容に大南高を包んでおり

ます、皆さんの原風景は健在です、在校生は「てっぺん」をテーマに掲げ文武の道に励んでおり刮目すべき成果を招来しております。この秋山南東京同窓会が歴史的な会報を出すことを歓迎、夢を拡げて大南高の力を結集しあの青春を再構築いたしましょう。

千歳会長は二高2回卒です。



西全景



お祝いのあいさつ

山形県立山形南高等学校長
鈴木 強太

山形南高東京同窓会の皆様には、お健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

この度の同窓会報の創刊、誠におめでとうございます。役員各位の熱情に敬意を表します。

昨年度の総会では、新任校長に対する熱烈なる歓迎を受け、また全国大会出場生徒支援募金活動でも多大なるご支援を賜り、会員各位に改めて厚く御礼を申し上げます。

昨年度は、総会での約束どおり見事10年振りの東大現役合格を果たし、今年度も生徒会スローガン「てっぺん」のとおり、インターハイではボクシング部から高校チャンピオンが誕生するなど、校是の「文武両道」を旗印に勢いのある学校づくりを進めています。今後も、南高の校風と伝統をしっかり受け止め、「社会を創造する心あるリーダー」の育成に努めてまいり所存です。

斎藤会長を先頭に新体制で益々元気な東京同窓会のご発展と皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



同窓会立ち上げと 苦節18年

前東京同窓会長 渡辺 幸雄

南高の全身である二中が創立された時の第一期生である私は、それなりに開拓者精神

を殖えつけられ、苦難を克服する挑戦者としての生き方を身につけざるを得ませんでした。

永いブランクはありましたが、平成14、15年と東京同窓会の開催ができ、私も一役担うことができましたことは、誠に感激に堪えません。心からご尽力くださった山形の役員の方、同窓会の役員の方並びに県職員の方等関係者に深く感謝申し上げます。

思い起こせば22年前、同期生が銀座で集まりました時に「東京同窓会を作ろう、東京支部を立上げよう」ということになり、十数名の有志が集まり、勇んで同窓の資料集めや安否の確認や名簿作りをやりました。全て手作業で満足な資料もない



東京同窓会の前途を 祝福します

山形県副知事 金森 義弘

山南東京同窓会が今年も盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

東京同窓会は、ふるさとを離れ首都圏で活躍されておられる二千人余の南高健児の方々を、強い絆で結びつけているものであり、その役割は今後更に重要になると思われます。

私どもも持ち前の南高魂で難局に立ち向かい、郷土・母校の発展に努めてまいりますので、皆様には、今後とも母校発展のためにご支援をお願いいたしますとともに、山南東京同窓会の益々のご発展を御祈念申し上げます。

金森副知事は南高9回卒です。

**同窓会立ち上げに高い熱意と能力と献身を持って
尽力されたこの方にメッセージをいただきます。**



山形の地からお祝いします

山形県農政部長 高橋 節

「休眠状態の東京支部再興を!!」本部千歳会長からの絶対命令。名簿を頼りに南校OB所員と

都内を駆けずり回った日々が懐かしい。準備組織の結成、2カ月後の例会開催と総会開催、ハードな日程も母校愛に満ちた会員の思いがあればこそ。益々のご発展を祈念します。

高橋前山形県東京事務所長は南高18回卒です。

ので手間がかかり、毎日深夜まで1ヶ月近くも努力しました。中には精根尽きて体を壊す者もあり、昼は会社勤めで役職をこなすばかりなので、筆舌に尽くしがたい苦勞をしたのを覚えており、私も体調をくずしました。そのような過程を経ての第1回総会の開催でした。嬉しかったのは確かですが、疲労困ぱいしたというのが正直のところ。そのような経緯があるので、その後再起を期すのがうまくゆかず、18年の空白ができたことは申し訳なく思います。

この度斎藤会長という適任者を得て、本学同窓会が益々発展成長することを祈念致します。

渡辺前会長は二中1回卒です。

南高健児、人生を拓く



大都会の中に生きて

舟橋 一夫 (南3卒)

母校の南高を出てから早51年。この気の遠くなるような年数を考えると、遅いようでありまた早いような気もする。昭和28年に青雲の志を抱いて東京に出てから、縁あって新宿で弁護士の仕事をするようになり、日本経済の発展と躍進を鏡に映すように新宿は巨大化してきたが、その中で溺れもせずにも生き抜いてきた。しかも、大きな失敗もせずに。その事を考えると、感無量である。

最初は花園神社の近くの弁護士事務所にイソ弁(居候弁士を)として勤務したが、その後独り立ちし、今は第28宮庭マンションで事務所を持っている。昭和54年頃、日照権のからむ問題で偶然知り合った方が、同郷の西村山郡七軒村沢口(現大江町)出身の荒木倉太さんで、「一室空いてるよ」と言われて、気持ちよく買ったものである。御苑を見下ろす風光明媚な立地にあり、疲れたときは目を癒してくれる。そのような縁で管理組合の理事長を受けるはめになり、マンション管理を通じて近隣の方々とお付き合いするようになって、ひいては交流の輪が広がって「オール新宿親睦ゴルフ大会」にも参加するようになった。タカノフルーツの高野氏や色々な人がいて、多くの商店街や商工会議所に錚々たるメンバーが参加して、面白い。反面、このような会に顔を出していると、新宿の一隅で色々な職業の方々と知り合う機会にも恵まれる。その中でも、田舎訛りから同郷の方と解り親しくなることもある。例えば名物焼鳥屋「海老忠」の親父、喫茶店「バルコニー」の女将等。そんなわけで、新宿で仕事をする冥利を味わっている昨今です。弁護士の仕事は、人の役に立つ面白い仕事です。法曹界も新人が入りやすくなって昨今、南高の後輩諸君もどんどん押しかけてもらいたいと願っております。

新宿御苑前の弁護士事務所にて

🍓 まだまだ元気です!

武藤 泰敏 (南2卒)

大学卒業後46年(東大医学部卒)、ひた走りに走ってきたので、本年3月で第2の定年を迎えたのを記念に、目下世界漫遊の旅に出ることにした。4月吉野桜、5月中国医科大学(瀋陽)、6月ミラノ、コモ湖(北イタリア) 8~9月ゴールドコースト(豪州) ついでNY、ボストン(米国)と続くことになっている。10月コロンビア大学客員教授に就任する。「続 勉強は定年からが面白い」の執筆も終わったので、楽しみにして下さい。来年4月からはまたアルバイトの口(施設長)が決まり、もう2年位名古屋にいる予定(二男が大学卒業まで)。なお、11月末から門前仲町(東京)にも住めそうで、往復することになりそうです。

🍓 光陰の如く過ぎ去った青春の日々。

山紫水明の恵まれた山形の春夏秋冬。

渡辺 順子 (南5卒)

50数年前、千歳山の麓に広がる水田の中、木造の校舎は自然の中に溶け込んでいました。医務室で診療の手を休めた時、ふと、そんな光景が頭を過り、懐かしさと東の間の癒しを感じています。

古き良き伝統あり わが高は実力校なのです

体力勝負

竹下 克介 (南12卒)



元来が映画好きだったので、大学を出て映画会社に入ったのが、斜陽化でテレビ映画に転属。昼夜をたがわず体力勝負で働く。そして昨年5月に定年してフリー。月金の4時50分からの「東京サイト」を受け持っている。思い出深いのは「徹子の部屋」を最初10年間はディレクター、後半10年間はプロデューサーを勤めたこと。やはりあの人はすばらしい女性の怪物です。感動したのは戦前からの役者の滝沢修や杉村春子さん。体力、これこそ実社会で生き残るすべですね。

校友出版予定本の紹介

武藤泰敏さんの明年始め出版する本の内容です。
続 勉強は定年からが面白いーライフワークの成就を目指して
プロローグ：何でもイチからやってみよう

第一章 学術講演の栞

1. 人間栄養学ー生活習慣病の予防と臨床栄養士の未来
2. 劇症肝炎ー発症機序と生存率の向上をめぐる
3. がん予防の栄養学ー21世紀のキーワードは化学予防
4. 肝病態と栄養薬物治療ー東洋思想「医食同源」の具現

第二章 物語の散歩道

1. レチノイド物語ー夜盲のビタミン・がんの予防薬へ
 2. BCAA協語ー葉になったアミノ酸
 3. 武藤賞協語ー私説日中医学交流20年
 4. ゴールド・コースト物語ー無限に広がる南太平洋に懐かれて
 5. 能面物語ー完璧な模写に徹した趣味の世界
 6. 学長物語ーエレガントな淑女のいるキャンパスで
 7. 食酢物語ードラッグ・ケア・マネジメント事始め
- エピローグ：心は「国限フリーター」

わが人生、 南高に原点あり



柔道部の発足

土屋 裕司 (南2卒)

一昨年の十月、同期有志で新校舎を見学。今風の立派な建物で、特に運動部の練習場、トレーニング機具類の充実には驚いた。

在校時は、野球が全盛だったが、私は柔道に熱中していた。占領下で学校には柔道部も道場もなかったため、警察や町道場で練習した。同志がいたので学内に道場確保と部の旗揚げに奔走した。高三の春、仮道場と部の設置を実現するに至り一同大感激。かけがいのない青春の1ページとなった。



私の母校

三田 靖子 (南8卒)

三百何人中三十人ほどの女生徒で、ひとクラス五人、教室の端に机を並べ窮屈な思いをしました。でも優しい先生、きびしい先生もいましたが、楽しい三年間でした。蔵王と月山の山並み。サクランボ園に囲まれた木造の校舎。今はスポーツ学業と盛んに活躍される後輩に期待します。私も医師として頑張ります。



甲子園の思い出

岡村 仁司 (南9卒)

私は幸運にも2回連続出場した。2年の時は3県代表で坂出商業と対戦。翌年は県代表で平安高校と対戦。3番センターで戦績は1安打。なつかしくて貴重な青春のひとつコマである。



“西高よりエール”

会報創刊号

おめでとうございます

山形県教育委員

吉村 美栄子 (西高45卒)

歴史をひもときますと、西高と南高は西校舎、東校舎と両立した時から、妹兄の間柄。それ故身内のような気持ちで、山南東京同窓会の益々のご発展を祈念致します。先日羽黒山に詣でて、国宝五重塔が悠々とたたずむ荘厳さにうたれました。南高も西高も良き伝統を築いて、歴史を刻んで欲しいと思います。



前山形市長

吉村和夫君を偲んで

中村 公雄 (二高2卒)

われら二高2回の同期生は、旧制中・新制高と6年間一緒に混乱期の労苦をともにしたが、集団演習でもいたずら騒ぎでも輪の中心に吉村君がいた。リーダーシップの権化のような存在で、その明るさが周囲を暖めてくれていた。

思い出すのは「評定河原の悲劇」、我が二高1～2回生中心の野球部が初の甲子園出場を逃がしてしまった悔しさ。県予選を勝ち上がりながら、南東北大会で宮城県代表に惜敗、それも当時の仙台・広瀬川の草深い球場で外野に飛んだボールが草むらに隠れてしまい、探している間にランニングホームランを許して負けた。応援団リーダーは吉村君、肩を落として帰校して来た姿が目には焼き付いている。それを契機に運動部、応援団の活動が華々しくなり、吉村君の出番もヤタラ増えた。

そんな吉村君が大学生時代から政治家を志望し始めたのは当然の成り行きに思えた。代議士秘書から県会議員、山形市長へと不撓不屈の人生を歩んだ同君を、われら同期の輝ける星として陰に陽に応援して来た。

政治家の資質というとは各種あるかもしれないが、顔が大きいことがその一つだと思う。ご存知でしょう、同君のでっかい顔、そして常に微笑んでいた。あの微笑みは断じて選挙用ではない、少年時代から変わらぬ同君の内面からにじみ出たものと断言できる。

それにしても吉村君の死は早すぎた。彼のことで、きっと早死にした同期生56名を纏め上げ、あの世同期会を結成して待ち受けていることだろう。いずれ仲間に入れてくれよなあ、和夫君。 合掌

佐藤 仁 (二中2回卒 東大医学部卒)さんに原稿を依頼したところ「せっかくの原稿依頼でございますが、夫は今年3月27日に永眠いたしました。生前のご交誼を深く感謝し、二中南高の皆様の益々の発展を心よりお祈り致します」とご夫人よりご返事がありました。ご冥福をお祈りします。 合掌

各界に活躍する

人からの所感



「紅葉マーク」で胸張って

椿 尋昭 (南1卒)

35年余り小さな事故もなくハンドルを握ってきたが、古希を数えてから運転を躊躇するようになり始めた。そろそろ車とも決別しようかと考えたが、テレビで見た90歳を超えた老夫婦の運転さばきに刺激され、もう一度新車に乗り替えることにした。

これからも安全第一に。健康管理に努めながら生きて行きたいと思う。



横浜ベイスターズ 投手

加藤 武治 (南46卒)

8月28日中日戦に先発出場し、今期初勝利を挙げた加藤選手の雄姿。

山形新聞より



母校に感謝

米屋 武志 (南9卒)

私は千代田区大手町で国際特許事務所を開いて、弁理士の仕事をしている。人生山あり谷あり。現在の自分があるのも、思春期に培われた南高健児の精神がバックボーンになっている。母校に感謝します。



好きな音楽でボランティアを

栗原 将 (南12卒)

大学で電気工学科通信工学専攻、会社勤務4年半を経て電子部品の輸入販売会社を創業、エレクトロニクス業界にて一貫して現在のコンピュータネットワーク関連まで33年間専念した。昨年10月辞任、第2の人生へ。

高校では音楽部、森山ハゲ先生にベルカントでしごかれ、それが現在のクラシックを歌うことに通じている。数年前からクラシックのプロの先生に師事し『日本の子供達に日本の歌を』との提唱を掲げ唱歌・童謡・歌曲をボランティア的に幼稚園・小学校を回り歌わせて頂いています、これからは老人ホーム・病院・他にて自分の歌う事の喜びを通して皆さんに喜んで頂き、懐かしんでもらえれば第三の人生を有意義にできるのかなと思っています。お声がけ頂ければ喜んで歌います！



温泉王国、フルーツ王国 そして「そば処、山形」

相澤 嘉久治 (南3卒)

「蕎麦は信州」と言われたのは昔のこと。今は、「そば処山形」が全国のソバ党の注目を集めている。

14年前に「そば処山形うまい店55選」、6年前に「同202選」を出版して全国にPR、現在「同303選」(11月いちい書房全国発売)を準備中である。

空はコバルト 大地は招く……天下に鳴り響いた名応援歌

溪流釣り

杉山 彬 (南1卒)

50代になって教わった山魚釣りの楽しさが忘れられず、毎夏マイカーで北海道東部にしかけている。静寂の沢で1人過ごす数日間は正に醍醐味だ。一寸だけ熊の心配しながら。古希をすぎてガタもきているが、来年もと欲張っている。

応援叙景

築達 榮八 (南2卒)

希望の明星に憧れつつも、きびしい試練の風はわれらが胸をムチ打った。鍛えたかいはなは乱れに乱れて、どこへ散るやら。大地は、同窓諸君の輝きを未だ招くと信じてやまない。コバルトの空を眺めて歩まん。



心は碧空

藤井 千代子 (南3卒)

97歳の母が「心は18歳よ」と言うのを聞いて南高同窓会で高校時代に逆戻りする自分に納得する近頃。年を重ねたせいでしょうか。

「絆」の効用

増子 修 (南6卒)

第6回卒業生は山形と東京の「2団体」で200名を越え、2～3年ごとに合同の懇親会・旅行を催している。東京地区では20年以上前から毎年同学年卒の洋画家・書家の展覧会、懇親総会・暑気払・忘年会・ゴルフ等があり、これに極力参加して、同学年の「絆」を大切にしており、私にとってこれらが精神的健康維持の重要な要素となっている。

ゴルフで世界選手権 (グアム島にて)

小原 征四朗 (南9卒)

同期の約40名は関東と山形がコンペのときは日本選手権となり、昨年1月は勇躍世界選手権?を行った。所は南国のグアム。参加者は精鋭10名。外国なのでまごつく事しきり。がフェアウェイも施設も待遇も良く、空もコバルト。小さな予算で豪快に遊んで食べて心は大満足。今年も1月に2回目の大会を実施した。ネクストは来年初、さすがはわが同期生!

今風の東京で想うこと

熊澤 貢 (南21卒)

かれこれ30年ぶりの東京。摩天楼の林立。異邦人の闊歩。嘗ての面影が消えつつある街。別な街の匂いがしみてくる。いろいろと変革の時代。ともかく、いまは「泰然自若」で「点知地知子知我知」哉。いつも難しい事務をありがとう。山形県東京事務所の次長さん。

なんとかやっています……

伊藤 正弘 (南33卒)

暑い。小田急は今日も鮎詰め。たどり着いて職場では、南高先輩の指示が飛ぶ。「○○○するべ〜?」「は?はいはい」すぐにエンジン全開。



東京南壺会の歩み



東京南壺会 会長

森谷 亨 (南1卒)

昭和26年卒業(南高1回卒)
の在京の同級生は東京南壺会
を作っている。42年同級の村川

千秋君が、アメリカからの帰朝公演を行った時、在京の南壺会を作ろうと云う事になった。第1回の東京南壺会を半蔵門会館で開催し以来現在迄毎年南壺会を行っているが、当初の約10年間は斎藤(仁)、芳賀、森山先生の交互の出席を頂いた。小生の診療所に事務局を置き、ついでに会長職も押しつけられてしまった。その後渋谷や五反田で30~40名が集まっている。昭和20年山形二中に入学し、8月の終戦までの4ヶ月間に、農村動員、蔵王での開墾等の集団生活を経験し、又山形二高、山形南高と3回の学校名の変更があり、6年間の高校生活は固い絆となり、同年兵と云う思いのせいかも知れない。

古希を過ぎた我々にとって東京南壺会に出席することが、青春時代に帰れる唯一の時間であり、思い出にひたる事が可能な場所なのかも知れない。



我等山南東京二九会

山南東京二九会

浅黄 優喜 (南4卒)

会の誕生は、学窓を去って25年目に有志で東京二九会を旗揚げし、“継続は力なり”と申しますが、以来綿々となぎ26年を迎える。時にはハワイでの会合もあり、至って元気。



「卒業50年」

六南会

江口 光夫 (南6卒)

卒業したのが昭和31年(1956年)なので、もうすぐ50年。

関東地区では「六南会」として、山形と相互の交流や合同旅行を実施している。300数名が卒業し、28名が物故者となり、約200名が会員として連絡が取れる状況である。

50年前のインターハイや国体で、同期の仲間はレベルが高く、全国優勝や3位を勝ち取った。

2005年には、千葉県スポーツセンターを始め、千葉県で28競技「2005 千葉きらめき総体」が行われる。母校の後輩の活躍を応援したいものだ。我々6回卒が還暦記念として贈呈した大応援団旗が、コバルトの歌と共に海風にたなびく姿を見たいと思う。卒業50年のイベントを現在、山形の仲間と検討中である。



「ミミの会」の絆

ミミの会

武田 幹雄 (南8卒)

1963年より21年の間、大阪勤務が続き南高同期の仲間とは縁遠かった。1984年の7月、中野サンプラザ東京同窓会に出席したが、全員が他人に見えた。

壇上へ上がり、「33年卒業生～、誰か～、おるか～」と、声を張り上げた。

すると、7名が壇上へ上がって来た。一瞬、誰が誰だか解らない面々も、すぐに、26年前の名前と一致した。

以後「ミミ(33年卒業)の会」に入り、今年2月の第26回目は箱根湯本で懇親を深めた。

発足来27年の間、会長を務めている東海林君に感謝。

母校だより

★★★ 今どきの南高 ★★★



母校正面



「南高祭でのシンクロに市民熱狂」



8月29日に行われた第41回南高祭の目玉企画として、3年生18名が県内で最初の男子シンクロに挑戦し、計4回公演に集まった市民約2千人を沸かせた。夏休みの練習約1ヶ月、映画やテレビで話題の「ウォーターボーイズ」を参考に、振り付けや選曲を自分たちで取り組んだ。事前に地元紙に取り上げられ、注目の当日もテレビ3社が取材し特番を放映した。是非来年もと、新たな伝統になりそうである。

記 生島信行



南高生の活躍!

ボクシングで関東英之君が全国優勝!



今年度最大のニュースは何と言っても関東英之君のインターハイボクシング競技ミドル級優勝です。本校にとっても久しぶりの全国制覇でありました。今年度はバレー部団体・ボクシング部4名・柔道部2名・レスリング部2名・ソフトテニス部1ペアのインターハイ出場、新聞部・放送委員会の全国総文祭の参加があり、東北大会出場は10部に上りました。各部とも大活躍の年であります。

今後ともご支援・ご声援の程宜しくお願い致します。

記 高橋修一

最近の進学状況

南高の進学実績は、ここ10年ほど右肩上がりの伸びを示し、大学進学率80%、国公立大合格率55%前後(延べ人数150~180人)をキープし、浪人数は10年前の三分の一までに激減しています。現役で東大(理I)京大(薬)、浪人で一橋や千葉(医)合格を果たすなど質も向上してきました。

記 小川進路課長

平成15年度 収支決算書

収入				
項目	予算額	収入額	増減	摘要
総会会費	1,600,000	1,490,000	△110,000	10,000円×149人
年会費	500,000	502,000	2,000	1,000円×502人
寄付金	240,000	45,000	△195,000	
繰越金	645,448	645,448	0	
繰入金	0	9	9	預金利子
計	2,985,448	2,682,457	△302,991	
支出				
項目	予算額	収入額	増減	摘要
会場使用料	94,500	94,500	0	総会会場(11/29)
懇親会経費	1,253,000	1,244,460	△8,540	
会議費	70,000	77,790	7,790	役員会
総会案内経費	362,000	351,680	△10,320	
プログラム印刷経費	37,000	34,650	△2,350	
振込用紙印刷等経費	400,000	277,640	△122,360	
名札印刷経費	23,000	21,000	△2,000	
寄付金(本部)	100,000	100,000	0	
事務費	150,000	134,033	△15,967	
予備費	495,948	0	△495,948	
計	2,985,448	2,335,753	△649,695	

収入総額-支出総額=差引
2,682,457-2,335,753=346,704 次年度繰越金 346,704

☆☆☆☆☆☆ 総務から皆さんへ ☆☆☆☆☆☆

東京支部の役割分担は、次の通りです。

- (1)統括担当・斎藤常男会長
全体の企画立案、執行上の連絡調整、進行管理、会議召集、県人会役員会出席
- (2)事務局担当・県事務所勤務の南高OB
斎藤、伊藤、ス波、加藤、佐藤
各種連絡、会議等設定、会議決定等の要旨作成、会計処理と管理、名簿等の保存管理、会議や総会案内状の発送
- (3)総務担当・椿副会長、江口、栗原常任幹事
事務局との連携と協力、他の担当に属しない事項
- (4)総会準備担当・浅黄副会長、山田、安孫子、高橋常任幹事
総会成功のための準備活動
- (5)広報担当・吉野副会長、鈴木常任幹事
新聞発行、同窓会名簿の点検整理
- (6)渉外担当・土屋副会長
山形同窓会との連絡折衝

☆☆☆☆☆☆ 広報からのお知らせ ☆☆☆☆☆☆



- 会報新聞の発行について -

広報担当
副会長 吉野 禮三 (南3卒)
この度東京同窓会は、会報新聞を発行することになりました。

会報の重要性につきましては私も充分承知しておりまして、2千数百余名の会員の絆を深め交流を束ねるには、総会と会報新聞しかないと思っております。かと言って私の部署は、人員もおらず、情報の蓄積もなく、何の準備もありません。むしろ、会報を発行するのが難しい状況にあります。かと言って機が熟すまで待っていたのでは、機会損失を被ります。幸いに鈴木さんという適任者がいたので、創刊号を出すことにしました。

会員の皆様は故郷を出てから何十年、首都圏を中心に国の内外で活躍し、健在の方々です。そして、発進したい材料をたくさんお持ちのはずです。近況報告、同期との活動状況、同窓会を成功に導く具体的な提案など、会報を皆様の黒板代わりに使って頂き、同窓会の明るいトーチを灯し続けたいものです。



役員会議の風景

一手弁当で頑張ってますー

役員会は県東京事務所の一室を借りて、午後6時より事務員も参加して月1度のハイペースで行われる。会の基礎づくりや活動運営方針、総会準備と課題は山積。時間を忘れて熱が入り、8時15分の閉室を忘れること度々。途中一服して夕食をとるが、これは各自負担。終了後も居酒屋に陣取って激論。これも割勘なのです。

慶弔のお知らせ (山形の分まで記載)

- 16年物故者 (敬称略)
旧職員
3/9 大沼 佳明(社会) 3/5 柿崎 光雄(理科)
同窓会員
1/9 高橋 昭義(南23回) 2/11 元木 繁(南2回)
2/21 鈴木 浩(南37回) 3/2 鈴木 宏昇(南29回)
3/27 佐藤 仁(二中2回) 4/11 三木 誠(南3回)
4/16 鷲 利夫(南13回) 4/27 石沢 一男(南18回)
5/12 斉藤 俊明(南21回) 5/29 大堺 利實(二中1回)
7/15 鬼島 衛(南32回) 7/24 植松 茂信(南1回)
7/30 半田 澄吉(南3回) 8/9 岡崎 芳高(高二2回)
9/3 服部 恒彦(南50回) 9/23 丹野 哲男(南15回)

編集後記

会報新聞を引き受けてみたものの、何の材料も資料もなく人脈もなし。困り果てて蛮勇をふるい、目ぼしい所に原稿を依頼。先輩の指導を受け同期の援けを借りて、何とか完成。記事の集まりが少ないので、勝手に別のテーマの所に動かしたのをお詫びします。これも母校に奉仕したい一心ですので。これに懲りずに大勢の人が参加して下さい。てっぺんを目指したのですが、やっと出来上がったかと思うと感無量です。

会報編集者 鈴木 隆 (南9卒)
編集連絡先 千葉県船橋市東船橋1-37-7 東船橋不動産内 TEL 047-424-7200 FAX 047-424-7201



われらのフラッグを作ります!
ご寄付をお願いします。

皆んなのお金で皆んなの力で
つくるわが同窓会の旗

先に発注しましたが、支払いはこれから。5千円以上の寄付者は次回会報に発表させていただきます。作成代金の残りは寄付金として処理します。

同窓会総会・懇親会



会場のホテルグランドパレス



大盛況の
平成14年12月総会
平成15年11月総会



懇親会ではたくさんの
の会員と関係者が集り、
飲食談笑に花が咲き相
互の親睦を深め、大声
で校歌を斉唱しました。



同窓会報は会員みんなのものです。みんなが投稿し、会員同志の交流を深め、親睦の輪をを広めていきたいものです。どうぞ、近況なり活動なりを書いて気軽に編集局までお寄せください。お待ちしております。